



13.リハビリテーション実施率

入院の退院患者の内、リハビリを実施した患者の割合です。

2012年 54.5%、2013年 72.84%、2014年 78%です。100床未満の民医連病院の中で、第1位の数字となっています。

また、2014年10月より、回復期リハビリ病棟44床を導入し、さらに、入院患者におけるリハビリテーションを充実させました。

今後も更なるリハビリ実施率の向上、患者 ADL の向上を目指します。

QI 数値としてみた場合には、本指標は退院患者の実数で計算した数値となっている為、回復期病棟を開設した10月以降、リハ病棟は入院期間が長く月内退院患者数は減少。逆にベット数が減少した一般病棟は回転が速くなりリハ実施率はやや減少。結果として退院患者でみる本指標では数値として増加には至っていません。

